

# 第 59 期 事 業 計 画

自 平成 28 年 1 月 1 日  
至 平成 28 年 12 月 31 日

## I. 概況

平成 27 年度の日本経済は、アベノミクス政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調が続き、円安や原油価格の下落も追い風となり、大企業を中心に企業収益が改善しました。

しかし、中小企業、地方などには、景気回復の流れが見られず、今後、景気的好循環が広く及ぶよう一層の力強い経済対策の実行が期待されています。

北海道の経済においては、外国人観光客が大幅に増加するなど景気は緩やかな回復基調となっているものの、個人消費の動きに弱さが見られるなど、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されております。

自動車業界においては、ユーザーの省エネルギーや車両の安全に対する意識変化により、プラグインハイブリッドや水素を燃料とした燃料電池自動車等、先進環境対応車や車両価格が安く燃費の良い小型車や軽自動車、運転支援システム等を装備した車両が増加しております。

道内の保有台数は、平成 27 年 12 月末現在 373 万台であり、登録車は対前年同月 9 千台減少し、軽自動車は 1.6 万台増加しており、軽自動車の割合については前年同月の 32.4% から 32.7% と増加し、保有構造が変化しております。

以上のような環境を踏まえ、自動車整備業界の基本姿勢である自動車の安全確保、公害防止、環境保全等の社会的使命を果たすとともに経営基盤の確立と活性化の推進を基本とした諸事業を実施致します。

主な事業としては、定期点検整備が自動車の安全確保と公害防止、更には地球温暖化防止にも貢献出来、最終的には自動車ユーザーの利益の増進に繋がることをフェスティバル、街頭車両検査等を通して訴求し、点検整備実施率の向上と環境保全における整備業界の社会的使命の達成に努めることとしております。

整備技術向上対策として、電子制御など新技術への整備技術力の向上を目的に全国展開されている「スキャンツール基礎研修」、「スキャンツール応用研修」に「ステップアップ研修」を追加し、新技術に対応した人材育成の充実を図ることとしております。

自動車ユーザー対策としては、整備保証付定期点検・車検を PR し、代行車検との差別化を図るため各種イベント、新聞広告等を利用して広報活動を行います。

交通安全対策として、黄色回転灯の使用マニュアルに基づき適正な運用を周知するとともに黄色回転灯の固定化に向けたデータ収集を進めることとしております。

雇用・労務対策としては、自動車整備業界、自動車整備士について積極的に PR するとともに釧路市が行うキッズタウンへの参加、ふれ愛フェスティバルにおけるキッズエンジニアの実施を通して、未来を担う子供たちが自動車並びに自動車整備に対して興味を持ってくれるよう活動を継続的に行って参ります。

最後に、会員の皆様のために必要とされる団体として、また、各地域の自動車ユーザーから信頼される業界として、一層の効率化と更なるサービスの向上に努めるとともに、当会が活力ある団体として一層の発展を期するため、関係ご当局のご指導と会員各位のご理解とご協力を切望する次第であります。